

阿蘇海環境づくり協働会議 平成24年度の取組

取組方針

○地域住民と一体となった阿蘇海環境改善

環境改善に向けた地域活動の継続と阿蘇海将来ビジョンの策定

活動内容

(1) 環境改善活動等の実施(地域団体等と協働実施)

① 海藻類の回収

- ・日程 平成24年7月25日(水)
- ・場所 天橋海岸～大垣海岸
- ・参加者 約60名



② 清掃活動

- ・日程 平成24年10月22日(月)
- ・場所 (ア)天橋海岸～大垣海岸
(イ)天橋立文珠側
(ウ)阿蘇シーサイドパーク
- ・参加者 約100名



③ カキ殻回収作業

- ・日時 平成24年12月4日(火)
- ・場所 小天橋～天橋立運河
- ・参加者 約90名
- ・成果 約15トンのカキ殻を回収



(2) 啓発活動等の実施

① 環境ポスター掲示による啓発活動

- ・地域の小学生を対象に環境改善を推進する啓発ポスターを募集し、優秀作品を看板にして意識啓発を実施
(応募者数 宮津市:45名 与謝野町:272名)



② 地元小学校での出前語らいの実施

- ・平成24年9月14日(金) 岩屋小学校



(3) 専門家研究会の開催

- ① 平成24年5月8日(火) 第2回専門家研究会開催
- ② 平成25年3月14日(木) 第3回専門家研究会開催

(4) 農業者関係の取組

- ① 浅水代かき実演による啓発(府農業改良普及センター、与謝野町)
・平成24年5月9日(水)「浅水代かき実演会」開催
・参加農家約30人



- ② 海藻肥料化試験(府農業普及改良センター、府海洋センター、与謝野町)
・平成24年4月～10月
平成23年度に採取した海藻を裁断、今年度、水稻肥料として実証実験を行い収量と食味値を計測し、肥料として使用できるかの有無等を試験

- ③ 自然循環農業(京の豆っこ肥料)の推進(与謝野町)
・豆腐工場からでたおからを作った「京の豆っこ肥料」を推進し、化学肥料から有機質肥料にすることで、与謝野町ブランドを確立するとともに、阿蘇海等環境にやさしい農業の促進を図っている。
(平成24年度作付面積126ha)

(5) 各種調査・研究等

- ① アサリの垂下育成技術開発、アマモ場造成技術開発等
(府海洋センター、海洋高校、漁業者等)
- ② キレートマリン散布実験(宮津市)



(6) その他

- ① EM菌投入による全小中学校プール清掃(与謝野町)
- ② 阿蘇海環境美化事業(与謝野町男山区、NPO、海洋高校、橋立中学校)
・「地域の環境は地域で守る」をスローガンに、府地域力再生プロジェクト交付金を活用し、生活区域の約300mの海岸でアオサの回収及びバイオコロニーを投入。回収したアオサは橋立中学校の環境学習の中で肥料として使用。海洋高校や橋立中学校の生徒も回収作業に参加し、阿蘇海の水質悪化などの環境の意識向上を図った。
- ③ 阿蘇海シーブルー事業(府土木事務所)
・平成24年度までに17.61haの覆砂工を実施(事業期間:H.5～30/全体計画:35ha)
- ④ 下水道事業、浄化槽設置補助(市町)